

第1章

自治体の図書館評価の実施に関する調査結果

第1章 自治体の図書館評価の実施に関する調査結果

2008年度（平成20年度）に実施した調査の結果は当該年度の報告書（『2008年度（平成20年度）公立図書館における評価に関する実態調査報告書』、以下、『2008年度報告書』と略記）にまとめたが、一部、そのデータの再集計を実施した。

1 業務統計および来館者調査に基づく評価の実態

(1) 回答数（再掲）

調査票を回答した自治体数について、『2008年度報告書』より再掲する。なお、評価基準が異なるなどの理由により、複数回答をした自治体があるため、「回答数」と「回答自治体数」とが異なっている。表1.1～1.3は「回答数（回収数）」である（回答率は都道府県で100%、市区町村で96%）。

表 1.1 自治体人口規模（都道府県）

人口規模	自治体数
百万人未満	7
百万人～五百万人	33
五百万人超～一千万人	10
一千万人超	1
合計	51

表 1.2 自治体人口規模（市区町村）

人口規模	自治体数
四万人未満	631
四万人超～十万人以下	375
十万人超～五十万人以下	254
五十万人超	33
合計	1,293

表 1.3 自治体区分

人口規模	自治体数
都道府県	51
政令指定都市	16
市	750
町村	504
特別区	23
合計	1,344

(2) 定期的な業務統計に基づく評価

本調査では、調査データに基づいて「何らかの比較を試みている場合」を「評価」として捉えている。具体的な比較としては、前年度との比較、数値目標との比較、他の図書館との比較、何らかの基準との比較などが考えられる。定期的な業務統計調査に基づく評価の状況を表1.4に示す。

ここで「業務統計」とは、日々の業務記録を集計することによって得られる統計であり、データ収集のコストが低いという利点がある。ほとんどの図書館においては、貸出等の業務にコンピュータを導入しているため、この種のデータの自動的あるいは半自動的な集計が可能であり、これを実施している館の比率は当然のことながら高かった。具体的には、都道府県では96.1%、市区町村では79.7%がこの種の調査を実施していた。ただし、人口規模別に見れば、人口四万人未満の市区町村の実施率が72.9%でやや低い。

一方、業務統計調査に基づいて評価を試みている図書館はそれほど多くはない。都道府県の実施率は58.8%であるが、市区町村では半数をかなり下回っている（34.3%）。さらに、数値目標を設定し、

計画的な評価を行っている館は都道府県では41.2%、市区町村では16.7%に留まっている。

表 1.4 定期的な業務統計調査に基づく評価の実施

	全回答数	調査を実施	評価を実施	数値目標を設定
都道府県	51 100.0%	49 96.1%	30 58.8%	21 41.2%
市区町村 (全)	1293 100.0%	1031 79.7%	443 34.3%	216 16.7%
市区町村：四万人未満	631 100.0%	460 72.9%	180 28.5%	71 11.3%
市区町村：四万人超～十万人以下	375 100.0%	317 84.5%	140 37.3%	70 18.7%
市区町村：十万人超～五十万人以下	254 100.0%	226 89.0%	109 42.9%	65 25.6%
市区町村：五十万人超	33 100.0%	28 84.8%	14 42.4%	10 30.3%

都道府県と市区町村(全)についての、より詳細な内訳を表 1.5 に示す。

表 1.5 定期的な業務統計調査に基づく評価の実施 (内訳の詳細表示)

都道府県		数値目標の有無		評価実施の有無		調査の有無		合計
調査あり	評価実施	数値目標あり	21 70.0%	30 61.2%	49 96.1%	2 3.9%	51	
		数値目標なし	9 30.0%					
	評価未実施		19 38.8%					
調査なし								

市区町村 (全)		数値目標の有無		評価実施の有無		調査の有無		合計
調査あり	評価実施	数値目標あり	216 48.8%	443 43.0%	1031 79.7%	262 20.3%	1293	
		数値目標なし	227 51.2%					
	評価未実施		588 57.0%					
調査なし								

表 1.6 定期的な業務統計調査における調査項目数

調査項目数	10未満	10～20	21～30	31以上	無回答	合計
都道府県	6 12.2%	11 22.4%	10 20.4%	21 42.9%	1 2.0%	49 100.0%
市区町村 (全)	331 32.1%	410 39.8%	98 9.5%	153 14.8%	39 3.8%	1031 100.0%
市区町村：四万人未満	187 40.7%	178 38.7%	23 5.0%	52 11.3%	20 4.3%	460 100.0%
市区町村：四万人超～十万人	106 33.4%	131 41.3%	39 12.3%	35 11.0%	6 1.9%	317 100.0%
市区町村：十万人超～五十万人	35 15.5%	96 42.5%	32 14.2%	52 23.0%	11 4.9%	226 100.0%
市区町村：五十万人超	3 10.7%	5 17.9%	4 14.3%	14 50.0%	2 7.1%	28 100.0%

次に、業務統計調査を実施している場合（「評価なし」含む）のその調査項目数を表 1.6 に示す。都道府県では、31 項目以上を設定しているところが最も多く（42.9%）、市区町村全体では10～20 項目が最も多い（39.8%）。この傾向は市区町村を人口規模別にみた場合でもほとんど変わらないが、50 万人を超える自治体が例外で、都道府県と同様に、31 項目以上が最も多くなっている。

(3) 来館者調査に基づく評価

次に、来館者調査に基づく評価の状況を表 1.7 に示す。業務統計調査よりも実施が困難なため、実施館は表 1.4 よりも少なくなっている。それでも、都道府県では 76.5%の調査実施、49.0%の評価実施となっているが、市区町村全体では、その比率はそれぞれ 22.4%、13.7%に低下する。当然、数値目標を設定している自治体の割合も低くなっている。表 1.5 と同様に、表 1.7 の詳細な内訳を都道府県と市区町村全体についてのみ、表 1.8 に掲げる。

表 1.7 来館者調査に基づく評価の実施

	総数	調査を実施	評価を実施	数値目標を設定
都道府県	51	39	25	9
	100.0%	76.5%	49.0%	17.6%
市区町村（全）	1293	290	177	31
	100.0%	22.4%	13.7%	2.4%
市区町村：四万人未満	631	92	52	13
	100.0%	14.6%	8.2%	2.1%
市区町村：四万人超～十万人以下	375	96	57	5
	100.0%	25.6%	15.2%	1.3%
市区町村：十万人超～五十万人以下	254	84	54	11
	100.0%	33.1%	21.3%	4.3%
市区町村：五十万人超	33	18	14	2
	100.0%	54.5%	42.4%	6.1%

表 1.8 来館者調査に基づく評価の実施（内訳の詳細表示）

都道府県			数値目標の有無		評価実施の有無		調査の有無		合計
調査あり	評価実施	数値目標あり	9	36.0%	25	64.1%	39	76.5%	51
		数値目標なし	16	64.0%					
	評価未実施				14	35.9%			
調査なし							12	23.5%	

市区町村（全）			数値目標の有無		評価実施の有無		調査の有無		合計
調査あり	評価実施	数値目標あり	31	17.5%	177	61.0%	290	22.4%	1293
		数値目標なし	146	82.5%					
	評価未実施				113	39.0%			
調査なし							1003	77.6%	

表 1.9 来館者調査における調査項目数

調査項目数	10未満	10～20	21～30	31以上	無回答	合計
都道府県	6	17	9	7	0	39
	15.4%	43.6%	23.1%	17.9%	0.0%	100.0%
市区町村（全）	135	102	29	14	10	290
	46.6%	35.2%	10.0%	4.8%	3.4%	100.0%
市区町村：四万人未満	52	24	9	3	4	92
	56.5%	26.1%	9.8%	3.3%	4.3%	100.0%
市区町村：四万人超～十万人	40	39	10	4	3	96
	41.7%	40.6%	10.4%	4.2%	3.1%	100.0%
市区町村：十万人超～五十万人	36	33	7	6	2	84
	42.9%	39.3%	8.3%	7.1%	2.4%	100.0%
市区町村：五十万人超	7	6	3	1	1	18
	38.9%	33.3%	16.7%	5.6%	5.6%	100.0%

一方、来館者調査における調査項目数を表 1.9 に示す。回答者に負担を与える分、当然、調査項目数は業務統計調査に比べて少なくっており、多くの図書館が 20 項目以内に留めていることがわかる。

また、来館者調査における回答者数を表 1.10 に示す。

表 1.10 来館者調査における回答者数

回答者数	100以下	～200	～300	～400	～500	～1000	1001以上	無回答	合計
都道府県	0 0.0%	3 7.7%	5 12.8%	4 10.3%	3 7.7%	12 30.8%	11 28.2%	1 2.6%	39 100.0%
市区町村（全）	59 20.3%	36 12.4%	32 11.0%	27 9.3%	21 7.2%	42 14.5%	43 14.8%	30 10.3%	290 100.0%
市区町村：四万人未満	32 34.8%	12 13.0%	14 15.2%	5 5.4%	6 6.5%	6 6.5%	1 1.1%	16 17.4%	92 100.0%
市区町村：四万人超～十万人以下	19 19.8%	11 11.5%	9 9.4%	15 15.6%	8 8.3%	15 15.6%	11 11.5%	8 8.3%	96 100.0%
市区町村：十万人～五十万人以下	8 9.5%	10 11.9%	9 10.7%	6 7.1%	6 7.1%	18 21.4%	22 26.2%	5 6.0%	84 100.0%
市区町村：五十万人超	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	3 16.7%	9 50.0%	1 5.6%	18 100.0%

表 1.11 住民調査に基づく評価の実施

	総数	調査を実施	評価を実施	数値目標を設定
都道府県	51 100.0%	5 9.8%	3 5.9%	0 0.0%
市区町村（全）	1293 100.0%	101 7.8%	59 4.6%	13 1.0%
市区町村：四万人未満	631 100.0%	41 6.5%	24 3.8%	5 0.8%
市区町村：四万人超～十万人以下	375 100.0%	29 7.7%	17 4.5%	3 0.8%
市区町村：十万人超～五十万人以下	254 100.0%	27 10.6%	15 5.9%	4 1.6%
市区町村：五十万人超	33 100.0%	4 12.1%	3 9.1%	1 3.0%

表 1.12 住民調査における調査項目数

調査項目数	10未満	10～20	21～30	31以上	無回答	合計
都道府県	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
市区町村（全）	47 46.5%	32 31.7%	10 9.9%	9 8.9%	3 3.0%	101 100.0%
市区町村：四万人未満	22 53.7%	9 22.0%	5 12.2%	3 7.3%	2 4.9%	41 100.0%
市区町村：四万人超～十万人以下	14 48.3%	9 31.0%	2 6.9%	4 13.8%	0 0.0%	29 100.0%
市区町村：十万人超～五十万人以下	9 33.3%	12 44.4%	3 11.1%	2 7.4%	1 3.7%	27 100.0%
市区町村：五十万人超	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%

(4) 住民調査に基づく評価

来館者調査の実施によって明らかになるのは、図書館に実際に訪れた利用者の意見のみである。図書館を普段利用しない人々にまで調査対象を広げる方法のひとつとして、郵送法等による住民調査がある。住民調査に基づく評価の状況を表 1.11 に示す。住民調査の実施にはコストがかかり、さらには、標本抽出等に高度な統計的な知識が必要になる。そのため、その実施は困難なことが予想されるが、実際に、これを実施した自治体はかなり少ない。調査を実施した自治体は、都道府県では 9.8%、市区町村全体では 7.8%に留まり、さらにそれを評価にまで結びつけた自治体はわずか 5.9%(都道府県)、

4.6%（市区町村全体）に過ぎない。参考として、来館者調査と同様に、住民調査における調査項目数および回答者数を表 1.12 と表 1.13 にそれぞれ示す。

表 1.13 住民調査における回答者数

回答者数	100以下	～200	～300	～400	～500	～1000	1001以上	無回答	合計
都道府県	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	5 100.0%
市区町村（全）	9 8.9%	9 8.9%	9 8.9%	10 9.9%	3 3.0%	25 24.8%	30 29.7%	6 5.9%	101 100.0%
市区町村：四万人未満	5 12.2%	3 7.3%	8 19.5%	4 9.8%	2 4.9%	6 14.6%	8 19.5%	5 12.2%	41 100.0%
市区町村：四万人超～五十万人以下	3 10.3%	6 20.7%	1 3.4%	4 13.8%	1 3.4%	7 24.1%	7 24.1%	0 0.0%	29 100.0%
市区町村：十万人超～五十万人以下	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	11 40.7%	13 48.1%	1 3.7%	27 100.0%
市区町村：五十万人超	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%

2 評価の実施の実態

(1) 回答数（再掲）

2008年度（平成20年度）に実施した調査では、業務統計調査・来館者調査・住民調査等のうち少なくとも1つで調査を実施した自治体に対して、その実施に関して詳細に回答してもらっている。ここでは、その一部を再集計した結果を示す。表 1.14 と表 1.15 は『2008年度報告書』からの再掲である（それぞれ、「表 2.1」「表 2.3」）。

表 1.14 実施館・未実施館（都道府県・市区町村）〔『2008年度報告書』表 2.1 を再掲〕

区分	都道府県立 図書館	割合	市区町村立 図書館	割合
実施館	47	92.2%	1,019	78.8%
未実施館	2	3.9%	257	19.9%
無回答・不明	2	3.9%	17	1.3%
合計	51	100.0%	1,293	100.0%

区分	都道府県立図書館	市区町村立図書館
実施館母数	47	1,019
未実施館母数	2	257

表 1.15 図書館評価の実施（都道府県・市区町村）〔『2008 年度報告書』表 2.3 を再掲〕

区分	人口規模	年次計画に沿って実施		年次計画とは関係なく実施		計画中		計画無		無回答		合計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
都道府県	1 百万人未満	2	28.6%	4	57.1%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
	2 百万人～五百万人	11	37.9%	6	20.7%	4	13.8%	8	27.6%	0	0.0%	29	100.0%
	3 五百万人超～一千万人	5	50.0%	4	40.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	100.0%
	4 一千万人超	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
	合計	18	38.3%	14	29.8%	7	14.9%	8	17.0%	0	0%	47	100.0%
市区町村	1 四万人未満	101	22.3%	99	21.9%	42	9.3%	202	44.7%	8	1.8%	452	100.0%
	2 四万人超～十万人以下	90	28.8%	83	26.6%	32	10.3%	102	32.7%	5	1.6%	312	100.0%
	3 十万人超～五十万人以下	61	26.9%	67	29.5%	35	15.4%	63	27.8%	1	0.4%	227	100.0%
	4 五十万人超	6	21.4%	12	42.9%	5	17.9%	5	17.9%		0.0%	28	100.0%
	合計	258	25.3%	261	25.6%	114	11.2%	372	36.5%	14	1.4%	1019	100.0%
総計	276	25.9%	275	25.8%	121	11.4%	380	35.6%	14	1.3%	1066	100.0%	

以下では、表 1.15 における、評価を「年次計画に沿って実施」「年次計画とは関係なく実施」と回答した自治体について再集計を行う。実数は、都道府県で合計 32 自治体 (=18+14)、市区町村全体で合計 519 自治体 (=258+261) である。

(2) PDS の活用

評価は PDS (Plan-Do-See) あるいは PDCA (Plan-Do-Action-Check) の一環として行われるのが最も自然であると考えられる。表 1.16 は評価を PDS (あるいは PDCA) の一環として取り組んでいる自治体数を示している。なお表 1.16 中の%は、2008 年度調査の全回答数 (表 1.1 および表 1.2 参照) に対して算出されている。都道府県では 43.1%が評価を PDS の一環として活用しているのに対して、市区町村全体ではその比率は 16.7%に留まっている。特に、人口四万人未満の市区町村では、その 11.4%が評価を PDS の一環として活用しているのにすぎない。

表 1.16 PDS (あるいは PDCA) の一環としての評価の実施

	「2008年度調査」の全回答数			PDSで活用
		(うち) 評価を実施		
			(うち) 評価指標を設定	
都道府県	51	32	25	22
	100.0%	62.7%	49.0%	43.1%
市区町村 (全)	1293	519	321	216
	100.0%	40.1%	24.8%	16.7%
市区町村 (四万人未満)	631	200	103	72
	100.0%	31.7%	16.3%	11.4%
市区町村 (四万人超～十万人以下)	375	173	115	67
	100.0%	46.1%	30.7%	17.9%
市区町村 (十万人超～五十万人以下)	254	128	91	70
	100.0%	50.4%	35.8%	27.6%
市区町村 (五十万人超)	33	18	12	7
	100.0%	54.5%	36.4%	21.2%

表 1.16 に示した「評価指標を設定している図書館」がどの程度の個数の指標を設定しているかを示したのが表 1.17 である。具体的には、表 1.17 には、人口規模別に、評価指標の個数を回答した自治体数とその平均とが示されている。都道府県では平均 16.4 個、市区町村全体では平均 12.5 個の評価指標が設定されているが、実際にはばらつきが大きく、市区町村では最多が 121 個、最少が 1 個である。なお、市区町村では人口規模が少ない自治体の平均項目数が比較的多くなっているが、この平均は「評価指標個数を回答した自治体数」を分母とした平均であることに注意が必要である。また、実際にどのような評価指標が採用されているかは『2008 年度報告書』（p. 21～p. 34 参照）に詳細に記載されている。

表 1.17 設定された評価指標の数

	評価指標個数を回答した自治体	評価指標個数		
		平均	最多	最少
都道府県	7	16.4	42	2
市区町村（全）	252	12.5	121	1
市区町村（四万人未満）	76	12.4	50	1
市区町村（四万人超～十万人以下）	90	13.2	121	1
市区町村（十万人超～五十万人以下）	75	12.1	42	1
市区町村（五十万人超）	11	9.4	40	3

最後に、評価方法として、どのような基準との比較を行っているかどうかを尋ねた結果を表 1.18 に示す（この質問は「複数回答可」でなされている点に注意）。比較基準としては、「数値目標との比較」「過去との比較」が圧倒的に多い。「数値目標」の設定には過去の実績が参考になるであろうから、これはある程度予想された結果とも言える。その他の基準としては、「他と図書館との比較」が都道府県・市区町村ともに多い。

表 1.18 評価において採用している比較基準

	都道府県		市区町村（全）		市区町村（人口規模別）							
					四万人未満		四万人超～十万人以下		十万人以下～五十万人以下		五十万人超	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
数値目標との比較	18	56.3%	176	33.9%	46	23.0%	65	37.6%	56	43.8%	9	50.0%
過去との比較	17	53.1%	242	46.6%	85	42.5%	79	45.7%	69	53.9%	9	50.0%
他の図書館との比較	4	12.5%	92	17.7%	28	14.0%	34	19.7%	27	21.1%	3	16.7%
基準類との比較	0	0.0%	23	4.4%	12	6.0%	11	6.4%	7	5.5%	0	0.0%
その他の比較	1	3.1%	2	0.4%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%
比較は行っていない	2	6.3%	32	6.2%	6	3.0%	18	10.4%	8	6.3%	0	0.0%
評価指標を設定している自治体（図書館）数	32	100%	519	100%	200	100%	173	100%	128	100%	18	100%

*複数回答可、また無回答の自治体が存在する

＊ 報告所の集計・分析上で留意した点

1 調査回答の比率は、その設問の回答者数を基数（n）として、小数点第2位を四捨五入して算定しているため、比率の合計が100%とならない場合も合計欄は100%と表記している。

2 『2008 年度報告書』では、原則として、回答について修正を加えていない（ただし、「共通」調査で「調査を実施している」→「未実施館」に回答、「調査を実施していない」→「実施館」に回答している場合を除く）ため、矛盾を含んだ集計となっている。今回の集計では、矛盾点を除き、新たに集計したため、昨年度の集計結果と異なる場合がある。